

## 中学校社会科 単元指導計画（地理的分野） 【例】

### ○単元名「九州地方」（内容のまとめり C 日本の様々な地域（3）日本の諸地域）

学習指導要領の目標や内容、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、「九州地方」を単元とした指導計画の例である。以下のように、「日本の諸地域」の学習の最後に本単元を位置付けている。

1（4時間） 北海道地方	2（4時間） 関東地方	3（5時間） 中国・四国地方	4（4時間） 中部地方	5（4時間） 近畿地方	6（4時間） 東北地方	7（8時間） 九州地方
自然環境 【○知識】 【●思考・判断・表現】 【●主体的に学習に取り組む態度】	人口や都市・村落 【○知識・●技能】 【●思考・判断・表現】 比較	人口や都市・村落 【○知識・○技能】 【○思考・判断・表現】	産業 【○知識】 【●思考・判断・表現】 比較	産業 【○知識】 【●思考・判断・表現】	交通や通信 【○知識・●技能】 【●思考・判断・表現】 比較	交通や通信 【○知識・○技能】 【○思考・判断・表現】 【○主体的に学習に取り組む態度】
						※既習の考察の仕方も活用する

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校社会 p25 から 42 参照

### ○単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方について、比較的温暖な気候と豊かな自然環境、高速道路や空港の整備が諸産業と深く結び付いていることや、環境保全への取組、それぞれの地域での持続可能な地域づくりに向けた取組と、そこで生じる課題について理解できるようにする。</li> <li>九州地方について、調査活動や諸資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方の特色について、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応に着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子、持続可能な地域づくりに向けた取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</li> </ul>

### ○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方について、比較的温暖な気候と豊かな自然環境、高速道路や空港の整備が諸産業と深く結び付いていることや、環境保全への取組、それぞれの地域での持続可能な地域づくりに向けた取組と、そこで生じる課題について理解している。</li> <li>九州地方について、調査活動や諸資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方において、「東九州新幹線」が与える影響を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応に着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子、持続可能な地域づくりに向けた取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</li> <li>九州地方について、他者の考えを取り入れながら、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

○指導と評価の計画（全8時間）

次程	ねらい	主な学習活動・内容	評価規準と評価方法 C 生徒への支援
単元の導入 ①	九州地方の現状・課題について、既習の知識を活用して意見を出し合う活動を通して、単元の課題を設定し、学習の見通しをもつことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州の現状と課題について、ウェブマップや付箋を用いたブレインストーミングで予想し、個人で考えを文章で表現する。</li> <li>予想を共有する中で東九州新幹線の計画を示し、単元の課題を設定し、学習の見通しをたてる（単元のゴールの共有、どのようなことを調べればよいか）。</li> </ul>	<p>【●主体的に学習に取り組む態度】九州地方の現状と課題について予想して自分の考えを書いている。また、単元の学習の見通しをもつことができている。</p> <p>ワークシート、学習計画表、発言</p> <p>C 単元の学習の見通し、学習計画表を毎時間確認させる。</p>
東九州新幹線は20年後の九州にどのような影響を与えるだろうか			
第一次 ② ③	<p>東九州新幹線が九州地方に与える影響について、「現在」と「20年後の九州」を視点を調べ、課題解決に必要な情報を収集することができるようにする。</p> <p>整理した情報から、東九州新幹線が九州地方に与える影響について考察し、根拠を明確にして表現することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書籍やインターネット（1人1台端末）を用い、東九州新幹線が九州地方に与える影響について、各地方の学習で用いた考察の仕方（学習内容）を参考にして調べる。</li> <li>収集した情報から課題解決に必要な情報を選択し、整理する。</li> <li>整理した情報から東九州新幹線が九州地方に与える影響について、個人で考察し、文章で表現する。</li> </ul>	<p>【●技能】東九州新幹線が九州地方に与える影響について調べ、収集した情報から課題解決に必要な情報を選択し、マトリクス等の思考ツールを用いて整理している。ワークシート</p> <p>C 資料や関連ホームページ等を提示する。</p> <p>【●思考・判断・表現】東九州新幹線が九州地方に与える影響について考察し、自分の考えを根拠を明確にして文章で表現している。</p> <p>ワークシート</p> <p>C 収集した情報の中から、根拠となる情報を示す。</p>
第二次 ④ ⑤	他者と考えを伝え合い、東九州新幹線が九州地方に与える影響について多面的・多角的に考察し、図やグラフ等を効果的に用いて説明することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>班で考えを交流し、自分の考えを見直し、修正する。</li> <li>班でプレゼンテーションを作成し、班同士で説明し合う。</li> <li>※プレゼンテーションアプリ等を活用する。</li> </ul>	<p>【●技能】根拠となるデータ等を図やグラフ等を用いて効果的に表している。</p> <p>【●思考・判断・表現】根拠を明確にして、課題について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>ワークシート、プレゼンテーション資料、発言</p> <p>C 発表の手順を示したり、図やグラフを例示したりする。</p>
第三次 ⑥ ⑦	ゲストティーチャーとの交流を通して、自分たちの考えを修正し、東九州新幹線が九州に与える影響について多面的・多角的に考察し表現することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲストティーチャーに自分たちの考えを伝え、意見をもらう活動を通して、自分たちの考えを見直す。</li> </ul>	<p>【○技能】根拠となるデータ等を図やグラフ等を用いて効果的に表している。</p> <p>【○思考・判断・表現】根拠を明確にして、課題について、「20年後の九州」を視野に、多面的・多角的に考察し、文章で表現している。</p> <p>【●主体的に学習に取り組む態度】九州地方について、学習を振り返りながら、他者の考えを取り入れ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとして</p>

			<p>いる。</p> <p><b>ワークシート、発言</b></p> <p>C 生徒の考えをフローチャート等を用いて整理し、自分の考えを見直しやすくする。</p>
単元のまとめ・振り返り⑧	<p>単元の学習を振り返り、九州地方の特色について、多面的・多角的に考察し、文章で表現することができるようにする。</p>	<p>・これまでの学習を基に、九州地方の特色をまとめ、文章で表現する。</p> <p>・単元の振り返りを行う。</p> <p>※中項目の振り返りの時間を設定したり、「地域の在り方」と関連付けたりすることも考えられる。</p>	<p>【○知識】東九州新幹線が九州に与える影響、九州地方の自然や諸産業、環境への取組等、九州地方の地域的特色を理解している。</p> <p>【○思考・判断・表現】九州地方において、東九州新幹線が与える影響を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応に着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子、持続可能な地域づくりに向けた取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【○主体的に学習に取り組む態度】九州地方について、学習を振り返りながら、他者の考えを取り入れ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>C 日本の各地方の学習のまとめから付箋に共通点を書かせる等を行い、特色を文章化しやすくする。</p> <p><b>ワークシート、発言、単元テスト</b></p>

※評価については国立教育政策研究所発行の「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校社会を参考に設定した。

○・・・観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」

●・・・学習状況を見取り、生徒の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につなげる評価」

C・・・生徒への支援